

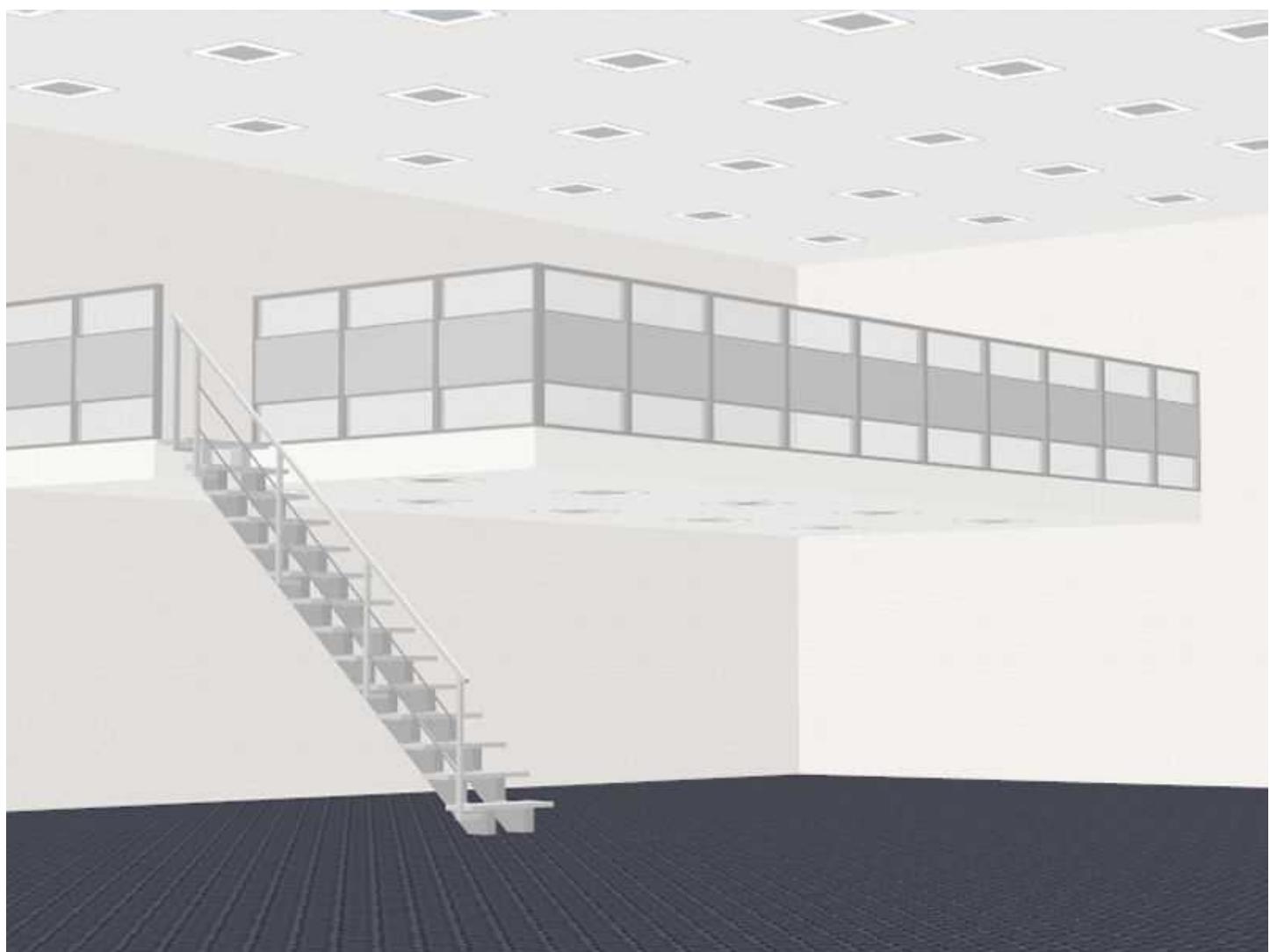
2階の作成方法

3Dオフィスデザイナーはワンフロアをレイアウトするためのソフトです。

そのため、通常の方法では2階は作成できません。

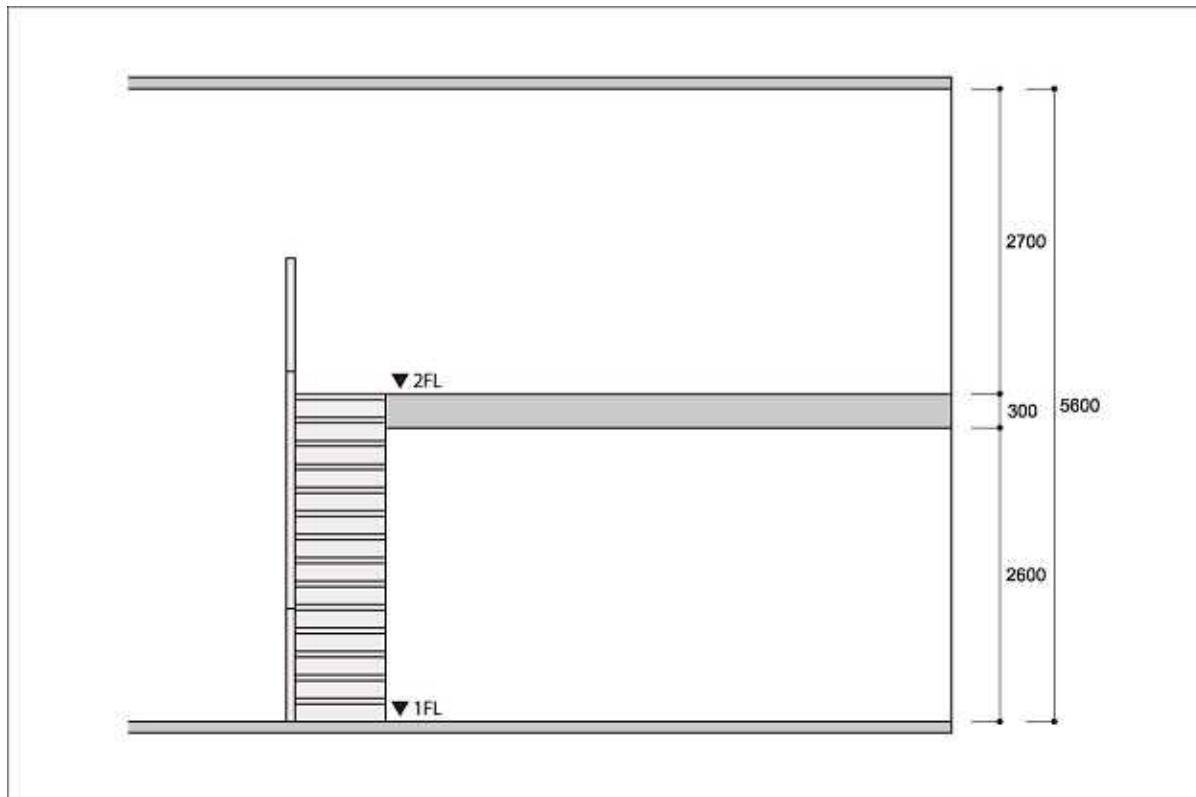
ここでは、床や天井の配置高さを調整して2階を作成する方法についてご紹介します。

完成例



対象バージョン 3DオフィスデザイナーPRO3

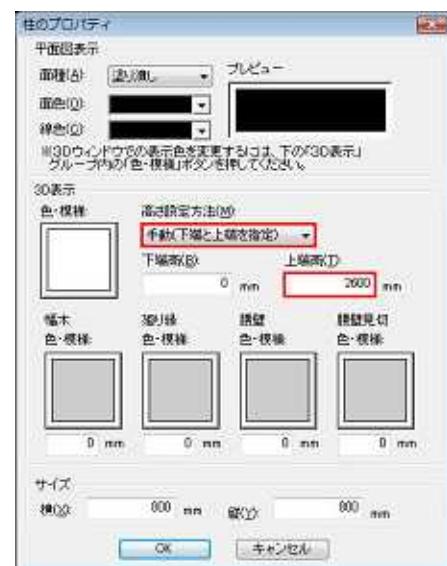
操作1 次の図のような2階を作成します。まず、部屋高を設定して1階のレイアウトを作成します。



- 1) [ツール]メニューの[部屋高設定]を選択します。
- 2) [部屋高設定]で「部屋の高さ」に2階までの部屋高を入力します。
ここでは部屋高を「5600mm」としています。
- 3) [柱・壁・床]レイヤに切り替え、1階部分の柱、壁、床を作成します。

柱、壁を作成した際、設定した部屋高の高さになります。

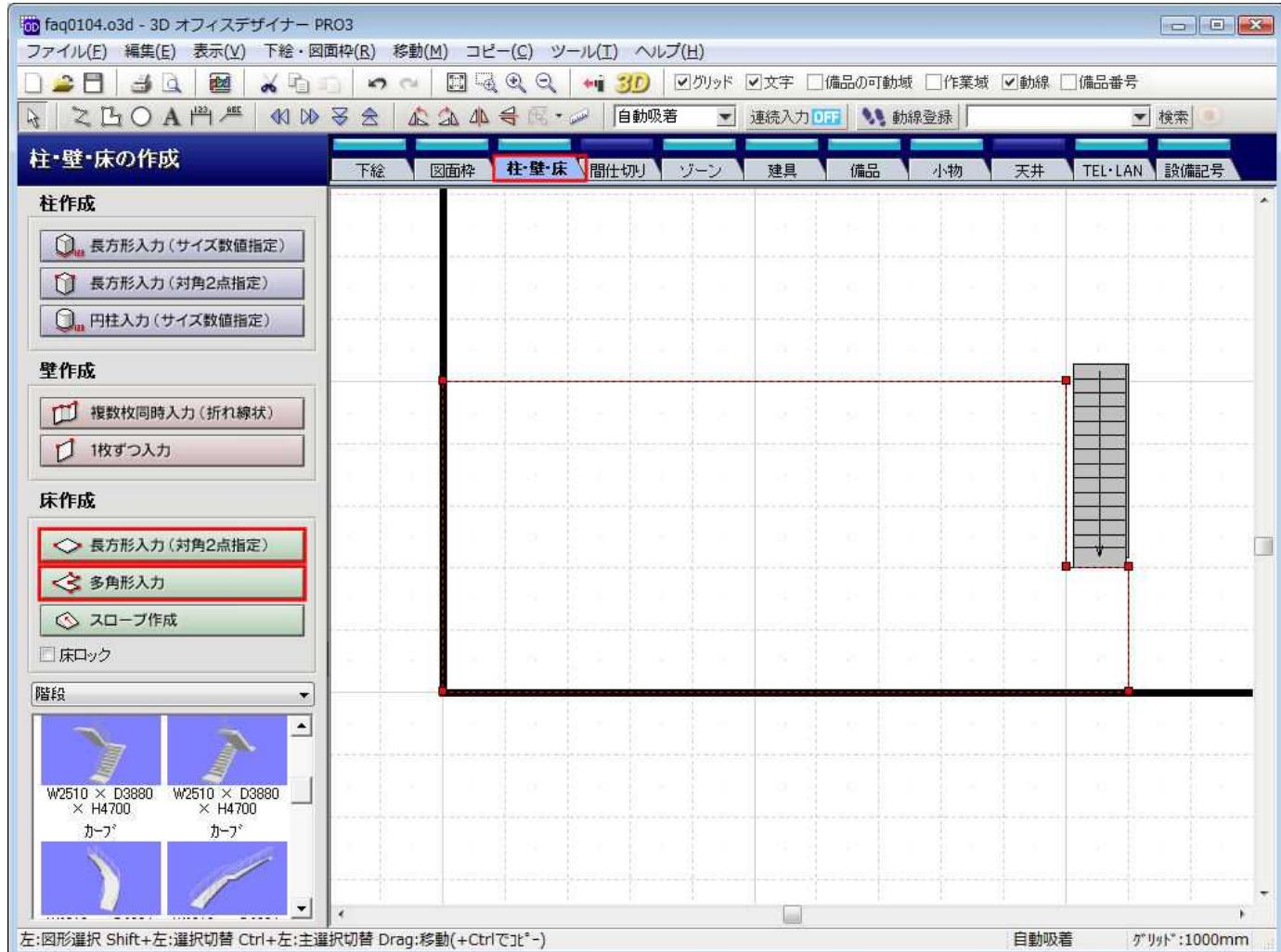
1階までの高さに変更する場合は、作成した柱、壁をダブルクリックし、[柱のプロパティ] [壁のプロパティ]で、「高さ設定方法」を「手動(下端と上端を指定)」に切り替え、「上端高」に1階までの部屋高を入力します。



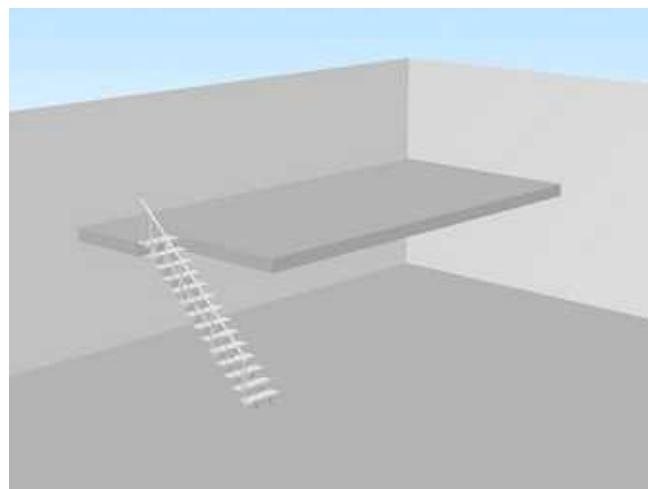
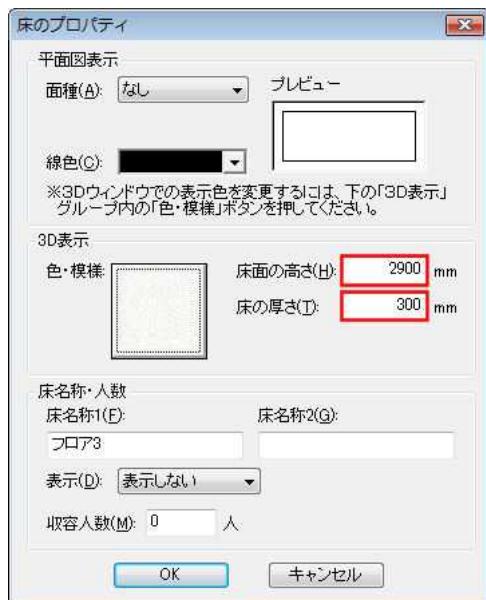
- 4) [間仕切り]、[建具]、[備品]、[小物]の各レイヤに切り替え、1階のレイアウトを作成します。

操作2 2階の床を作成します。

- 1) [柱・壁・床]レイヤに切り替え、2階部分の床を作成します。



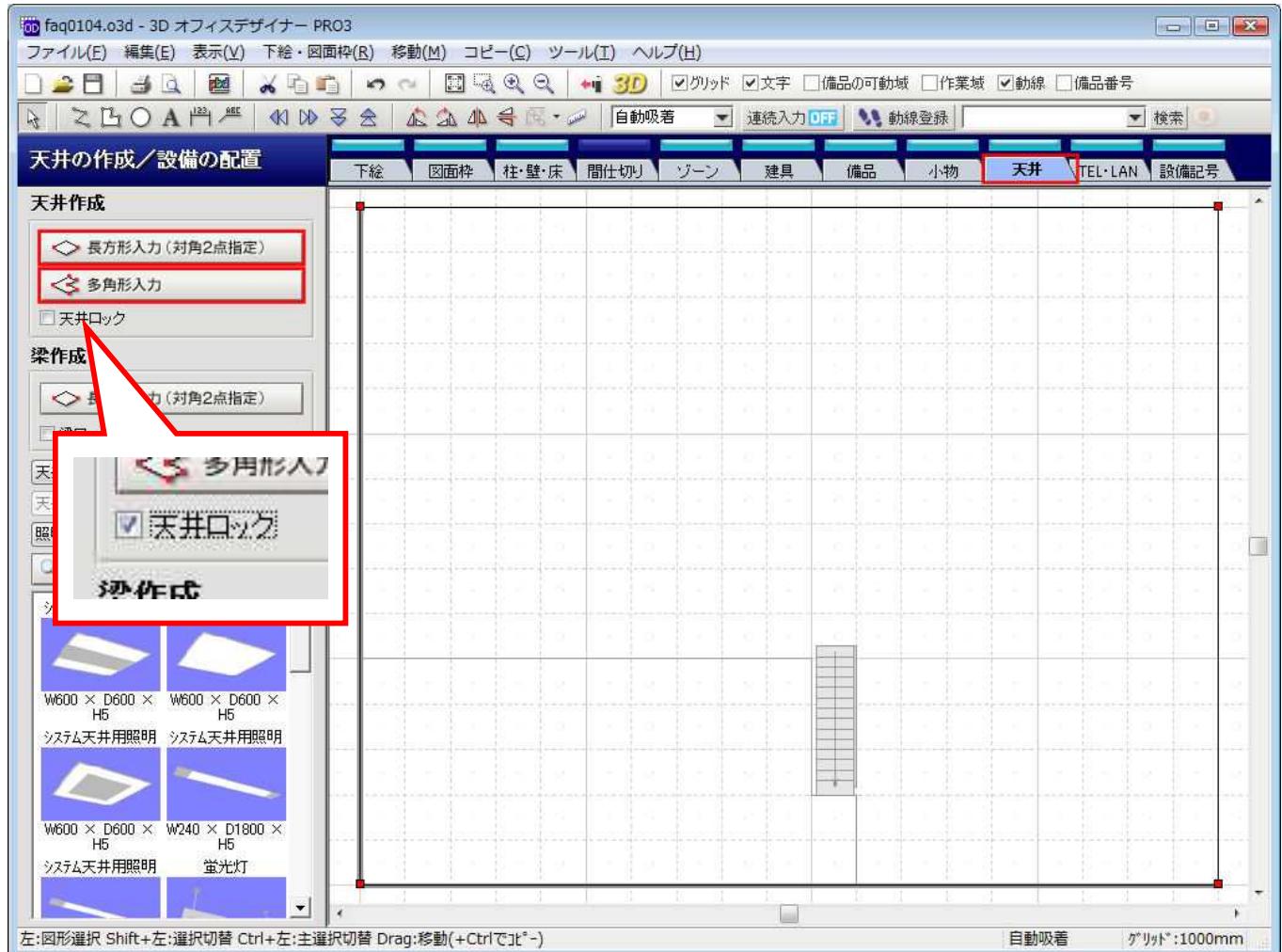
- 2) 作成した床をダブルクリックし、[床のプロパティ]で「床面の高さ」に2階の床面の高さ、「床の厚さ」に1階と2階の天井厚 + 床厚を入力して[OK]をクリックします。



3D ウィンドウで確認したパース

操作3 2階の天井を作成し、2階と1階の天井に照明パーツを配置します。

- 1) [天井] レイヤに切り替え、2階部分の床を作成します。



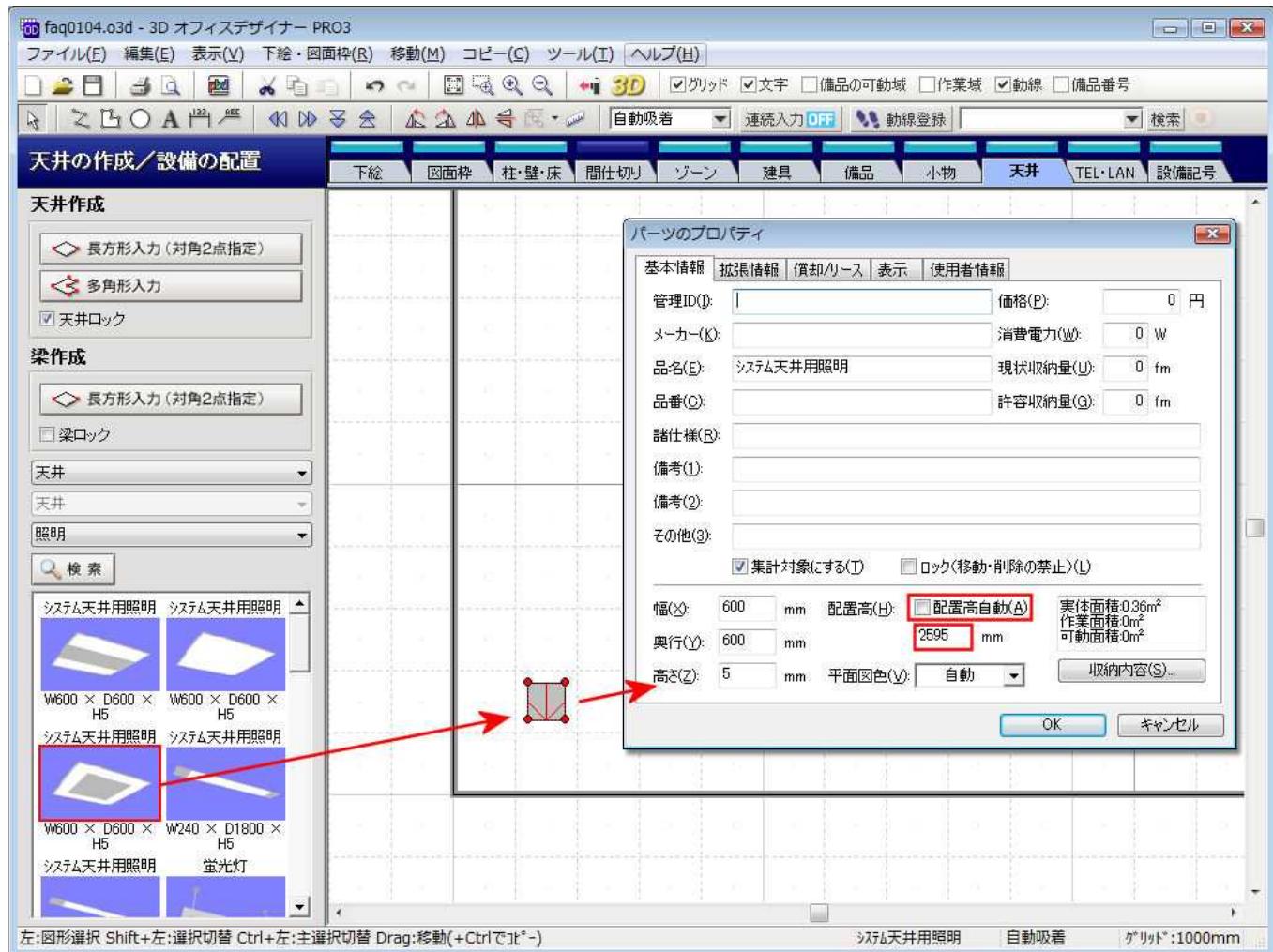
天井を作成したら「天井ロック」にチェックを入れ、天井をロックします。

- 2) 1階天井用の照明を配置します。パレットから照明を選択し、平面図上をクリックして配置します。
- 3) 配置した照明をダブルクリックし、[パーツのプロパティ]で「配置高自動」のチェックをオフにし、下の入力ボックスに1階の天井に配置されるように数値を入力して[OK]をクリックします。

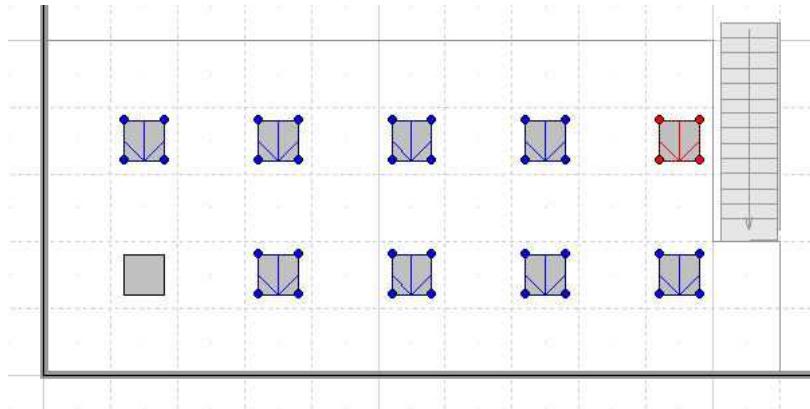
この作成例では、1階の天井高は「2600mm」としています。

次の図のように、配置した照明パーツの高さは「5mm」になっています。

この照明パーツを1階の天井に配置するため、入力する配置高さは $2600\text{mm} - 5\text{mm} = 2595\text{mm}$ とします。



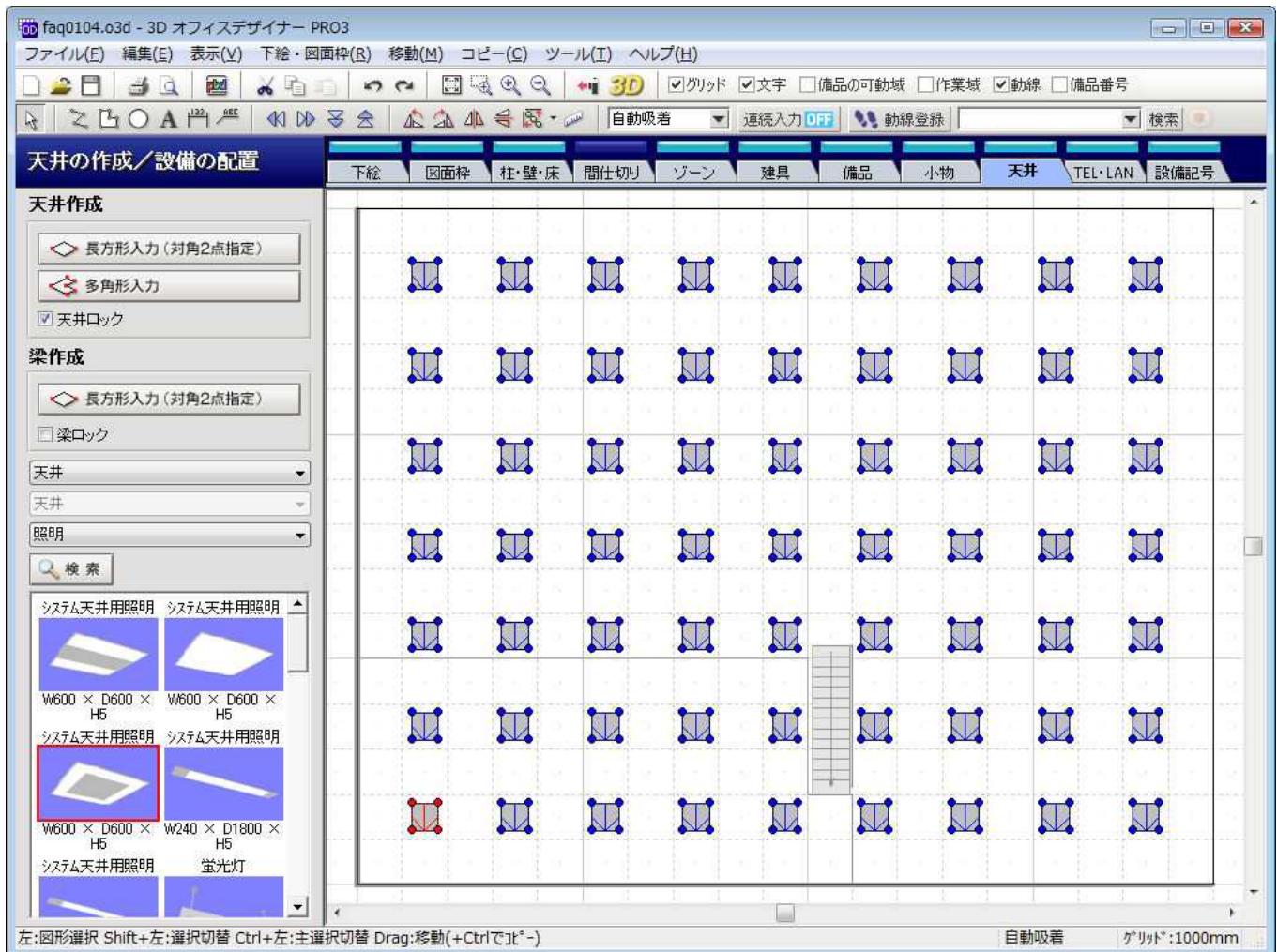
- 4) 1階の天井に配置されるように設定した照明パートを、「数値コピー」や「配列コピー」を使って1階の天井全体にレイアウトします。



- 5) 1階用の照明パートを配置したら、2階用の照明パートを配置します。

2階用の照明パートはそのまま配置するだけで、自動的に2階の天井に配置されるように設定されています。

1階用の照明パートのように[パートのプロパティ]で配置高さを設定する必要はありません。



6) 3Dウィンドウを起動し、[色・模様パレット]から柱、壁、床などに色やテクスチャを貼り付けてイメージを仕上げます。